

# フジテックブランド展開の歴史

フジテックグループは、日本の昇降機メーカーの中でいち早く海外進出を果たすとともに、専業メーカーとして培ってきたノウハウを生かして技術開発を推進してきました。海外売上高比率が50%を超えた現在では、各國のランドマークとなる建物への納入実績も着実に増え、“フジテックブランド”的確立を加速させています。

1948 → 1970 → 1990 → 2010 →

創業期

いち早く海外へ進出

当社は1948年2月に創業。研究開発からメンテナンス、モダニゼーションまで手掛ける、昇降機の専業メーカーとして歩み始めました。「東京オリンピック」が開催された1964年には、日本の昇降機メーカーとしていち早く香港へ進出。“世界は一つの市場”的いのもと、世界中の国々に進出し、事業展開を加速しました。

(百万円)

200,000 —

150,000 —

100,000 —

50,000 —

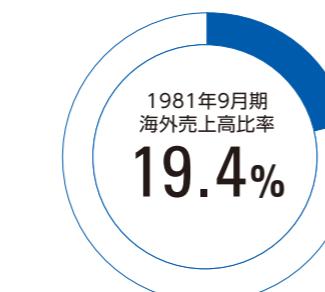
0 —

売上高推移

技術革新期

世界最大の研究塔完成

1975年に高さ150m、当時、世界最高・最大の「エレベータ研究塔」が完成。同研究塔を活用した技術開発を推進しました。翌年には分速600mのエレベータを世界に先駆けて開発したほか、現在のAI技術につながる学習機能を備えた、コンピューター制御による管理システムも構築しました。

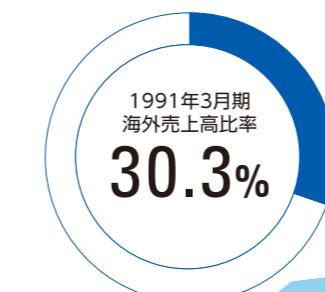


1990

拠点拡大期

東アジアを中心に事業を拡大

1990年代から中国の昇降機市場が拡大。増加する需要に対応するため、1995年に合弁会社Huasheng Fujitec Elevator Co., Ltd.を設立し、中国でエレベータの生産を開始しました。その後、上海にエスカレータ工場と研究開発施設を開設。また、韓国の仁川にもエレベータ工場を新設し、東アジアでの事業を拡大しました。

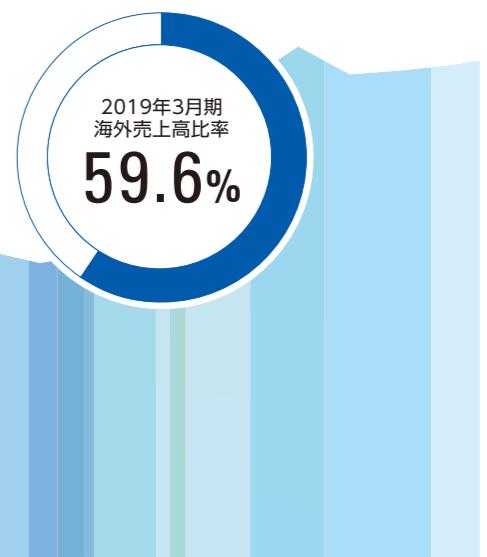


2010

ブランド成長期

グローバルでブランド展開を加速

積み重ねてきた実績が当社への信頼につながり、近年は各地のランドマークとなる建物に納入しています。日本の「GINZA SIX」、中国の「望京SOHO」、そしてシンガポールの「リゾート・ワールド・セントーサ」などです。今後もフジテックブランドの浸透と拡大を図ります。



地上53mのエレベータ研究塔を有する「大阪製作所」(1965年)



当時世界最高・最大の「エレベータ研究塔」(1975年)



エスカレータ生産の拠点「日高製作所」稼働(1989年)



Huasheng Fujitec Elevator Co., Ltd.設立(1995年)



本社「ビッグウイング」完成(2006年)



GINZA SIXにエレベータ・エスカレータ計84台納入(2017年)